

お見合い応援プロジェクト～あなたの出会い応援します！～

●自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け

本市の婚姻件数は過去5年間、2,000件を下回っており、令和2年の婚姻率は4.5と2000年代以降、小刻みに増減を繰り返しながらも減少傾向が続いており、早期に対策を講じる必要がある。

そこで「第2期和歌山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、「子供たちがいきいきと育つまち（安心して子育てができる環境の整備）」を実現するため、結婚希望者を対象に、出会いの場の設定や情報提供等の応援活動に取り組み、また結婚に踏み出す一助として、経済的支援を実施し、結婚から子育てにつなげる事業を推進しているが、引き続き「結婚の支援」を促進する仕組みに取り組むことが必要だと考えられる。

本市では、平成29年度には「第5次和歌山市長期総合計画」を策定し、将来都市像を「きらり 輝く 元気和歌山市」と定め、実現のため4つの分野目標を示している。その中のひとつである「子供たちがいきいきと育つまち」を実現するための施策として、安心して子供を産み育てることのできる環境の整備に取り組んでいる。「お見合い応援プロジェクト」は、その取組として重要な事業である。

また、令和2年3月に「第2期和歌山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少に歯止めをかけ、将来に向かって活力ある和歌山市を維持するため4つの基本目標を掲げている。その中のひとつである「子供たちがいきいきと育つまち」の基本施策として、

1. 家庭や地域で取り組む子育て環境づくり
2. 子供が健やかに育つことのできる環境づくり
3. 保護・援助を必要とする子供への支援
4. 結婚から子育てにつなげる社会づくり

「お見合い応援プロジェクト」について、上記基本施策の4に位置付けられている。

●個別事業の内容

<個別事業における現状と課題>

結婚を希望しているにもかかわらず出会いの機会が少なく、結婚することができない市民の方に出会いの機会を提供するため、令和3年度から事業を開始した。世話人同士が連携して縁結び会で独身者の情報を交換し、担当する独身者にふさわしい相手を探し、出会いの機会につなげる取組を行う。現在、独身者の登録者数が22名であり、縁結び会は新型コロナウイルスの拡大状況を鑑み、延期としている。現在、世話人の登録者数が9名なので、今後独身者の登録者数が増加した際、対応が難しくなるため、世話人を増員する必要がある。

<課題への対応>

令和3年度までは、世話人の登録の広報を地区社会福祉協議会や民生委員・児童委員を中心に行ったが、令和4年度は広く市民に向けて広報し、世話人の増員を図る。

<取組内容>

①縁結び会の開催

縁結び会を年3回実施し、世話人同士が独身者の情報を交換し、担当する独身者にふさわしい相手を探す。

②お見合い応援プロジェクト並びに世話人募集の周知

市広報誌により、周知を行う。

媒体選定理由：市内のほぼ全世帯に配布されることから、幅広く周知することが可能なため

※このほか、市HP、市公式SNSにも掲載し、チラシの配架を行う